

各会派による政務調査報告

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で他の自治体の取り組み実態を視察調査しながら研鑽に努めています。

地域に開かれた公立保育所の子育て支援
障害を持った子どもにも早期の訓練を実施

〔日本共産党〕

視察地

戸田市・鳩ヶ谷市子育て支援センター(5月9日)
上尾市障害児通園施設つくし学園(5月11日)

来年度移転する新しい北保育所には「地域子育て支援センター」と「障害児通所訓練室」が設置されます。

党議員団として、それらを充実した内容にするべく行政に提案するための視察でした。

戸田市の公立保育所の子育て支援センターは地域の親と子どもが参加しやすくするため「申し込み制・定員制」はとらず、その役割を積極的に果た



上尾市立つくし学園にて

していました。

鳩ヶ谷市の公立保育所では現場の保育士達の発案で20年以上前から独自に「遊ぼう会」と呼ばれる地域に打って出る子育て支援活動を展開してきたそうです。

は、子どもの障害の軽減を図るため、国の基準に上乘せした職員体制を取るとともに、専門家の力も借りて効果的な訓練が行われている現場を実際に見てきました。

どれも今後の伊奈町の参考にすべき姿であり、この調査の成果を今後の活動に引き続き積極的に活かしていく決意です。

「農」を「業」として魅力あるものに
中野市に学ぶ農業振興

〔新政21・清風会・みらい研伊奈・第一民主党 4会派合同〕

視察地

長野県中野市

去る5月25、26日の両日4会派合同で長野県中野市の農業振興策について視察しました。中野市では、農産業を取り巻く厳しい状況を打開し、農業の活性化をするためには「農」を「業」として魅力あるものにし、さらに行政が積極的に支援することにより、基幹産業の農業に活気を取り戻すことができれば、地域経済の活性化に



長野県中野市役所にて

つながら、と市長が住民と膝をつき合わせた会合で繰り返し訴えた。

冬季の副業としてスタートしたきのこ栽培は、冷房栽培の普及努力により通年栽培となり、菌茸類の生産額は121億円余となっている。

また、先進農家が試験的に導入したアスパラガスは水田転作の重点作物として位置づけ、全国有数の産地となった。現在、収量は落ちてきているものの野菜類と併せて9億8千万円余を生産している。果樹もりんご、ぶどう等53億円余を生産している。中野市では、行政・JA・生産者の夫々の組織が一体になり、栽培技術の研究・開発、労働力の有効活用、価格安定策、地産地消、消費地の拡大などに取り組んでいる。

行政が自らのものとして生産現場で活躍する姿が際立って見えた。